

・Web 会議 ～パソコンやスマホを活用した遠隔会議～

地域自治組織の中には、会議開催や防災訓練の配信に Web 会議サービスの Zoom や Microsoft Teams など活用されている組織があります。パソコンなどの操作が苦手な方は会議室で、そうではない方は Zoom などを通して会議に参加されることで、密になることを避け、時代に合った形で地域活動が行われています。もちろん、操作の苦手な方に向けて、地域のみなさんで操作を教えるなどのサポートも行っておられます。

会議に集まりにくい子育て世代の参画も期待できますので、担い手不足に苦慮されている団体の方々は導入を検討してみてもいいかもしれません。

パソコンなどの準備が難しい方は、スマホなどを活用したテレビ電話などで会議を開催することも可能です。



・地域 SNS アプリ「ピアッツァ」～オンラインで地域コミュニティを活性化～

身近なまちの情報を安全・安心に交換し合うことができるアプリ「ピアッツァ」に、豊中エリアが開設されています。豊中に住む人だから分かる、おすすめのお出かけスポットやイベント情報、口コミ情報など、地域の情報を投稿することができます。スマホでご近所の方との新しいつながりづくりを始めませんか。



登録は簡単！
アプリはこちらから



地域 SNS 「ピアッツァ」で
イベントのお知らせ・仲間募集をしてみませんか？

- ・豊中市と連携している地域密着アプリ！
- ・無料で使える！
- ・そのほか、不用品の譲り合いやグルメ情報など情報もたくさん！

「オンラインは活用したいけれど、設備を整える余裕がない…」

市では、地域自治組織の形成や、形成後の活動に必要な経費について助成を行っています。この助成金は、地域自治組織が実施する新たな活動や、組織の運営事務など、地域で継続的な課題解決に取り組んでいくために必要な事務・事業に使うことができます。

地域自治組織について、説明を聞きたいと思ったら、コミュニティ政策課までお問合せください！



トロッコ 創刊号



豊中市では、地域と市が協働して地域課題を解決していく取り組みを進めています。住民や地域団体が、それぞれの特性を持ち寄って課題を解決していく地域自治システムと、市の各部署が情報共有、協力・連携していく体制を作っていくことで、地域自治の実現をめざしており、そのために、まずは地域自治システムの制度を知っていただきたいと考えています。

地域自治システムに関心を持っていただき、地域の方々や各団体のつながりである地域コミュニティを作っていくことができればと願い、“トロッコ”を通して、地域活動に関する情報をお届けします。



豊中市市民協働部コミュニティ政策課（地域担当係）
〒561-8501 豊中市中桜塚 3-1-1 第一庁舎 5階
電話：06-6858-2727 ファクス：06-6846-6003
ホームページ：<https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/npa/jiti/index.html>



各協議会の取り組み
状況はこちら



市ホームページ

地域自治システム ～地域課題を話し合うテーブル～

これまでの地域活動では、教育や福祉、防犯などさまざまな分野でテーマごとに地域のことを考え、それぞれの専門性を活かして住みよい地域づくりを行ってきました。しかし、地域で活躍されている方々の高齢化や担い手不足、住民の方々のライフスタイルの変化などに伴って、さまざまな課題があらわれてきました。そうした課題に対して、各団体がその専門性を活かす方法では、部分的な問題の解決につながっても、包括的な地域課題の解決にはつながりにくいことが考えられます。

豊中市では、こうした複雑化する地域課題に対して、それぞれの団体が個別に専門分野のことを話し合っ



地域自治システムのイメージ図

ていただくこれまでの形ではなく、専門性をもった団体の皆さんが、ひとつのテーブルに座って話し合っていたら、『地域自治システム』に取り組んでいます。

豊中市には現在、東丘、北丘、小曾根、刀根山、南桜塚、高川、野田、上野の8小学校区に地域自治システムを取り入れた地域自治組織が設立されています。

新千里東町地域自治協議会の取り組み ～オンライン夏まつり～

新千里東町地域自治協議会は、平成24年(2012年)4月に、豊中市で初めて設立された地域自治組織です。「住んでみたい、住んで良かった、これからも住み続けたい東町」のビジョンのもと、楽しいイベントや地域の清掃活動、防災訓練など多岐にわたって活動をされています。



取材の様子

新千里東町地域自治協議会では担い手不足などの様々な課題を解決すべく、地域イベントを数多く実施しており、地域内でのつながりづくりに注力されています。

本号では、新千里東町地域自治協議会の昨年8月に行われた、この時代だからこそその取り組みである『オンライン夏まつり』についてお話をお伺いしました。

新千里東町地域自治協議会の新たな取り組み『オンライン夏まつり!』

オンライン夏まつりについて教えてください。

青木さん：オンライン夏まつりはコロナ禍の影響で開催できなくなった東町夏まつりの代わりとして、令和2年(2020年)からYouTubeの生配信という形で開催しています。

勝久さん：内容も東町夏まつりに負けず劣らず盛りだくさんです！地域で活動されている団体の発表や盆踊りにK-POPなどの要素を取り入れた盆ダンスをみんなで楽しんでいます。豪華景品が当たるプレゼント抽選会も大変盛り上がってますよ。

どうしてオンラインでのイベントを実行しようと思ったのですか？

青木さん：一番の理由は地域からの声ですね。行わないという選択肢をとることは簡単だけど、行わないとまつりのノウハウを引き継ぐことも難しい。子どもたちに少しでも楽しい雰囲気を感じてもらいたかったというのがあります。

小川さん：全員が賛成というわけではなかったと思いますが、人と人のつながりがなくなってしまうことが問題だと協議会では判断しました。



副会長 勝久 恭子さん



会長 青木 俊浩さん

実行するにあたって大変だったことは？

勝久さん：最初は不慣れな点が多かったので、みなさんを待たせることが多かったですね。二回目の今回はタイムスケジュール通りにできて良かったです。

青木さん：配信に参加してくれる人も、仕事とか生活もあるから、最初は動画を送ってもらう日付の設定とか、予行演習の日程調整にも苦労しました。



副会長 小川 浩一さん



盆ダンスの様子

人と人のつながりが
なくなってしまうことが問題



オンライン夏まつりの撮影風景



新千里東町地域自治協議会ホームページ



オンライン夏まつり

今後の展望などをお聞かせください。

青木さん：仮にコロナが収まっても、オンライン配信とリアルを同時に行っていたらと思います。

小川さん：今年度はオンライン夏まつり事業の一環で、まつりの前にスマホ操作が不慣れな方向けにスマホ講座を実施し、見てくれる人のすそ野を広げることができました。今後もスマホ講座は行っていく予定で、スマホ講座がオンライン事業だけではなく、地域の方の生活の幅を増やすことにつながればと思います。